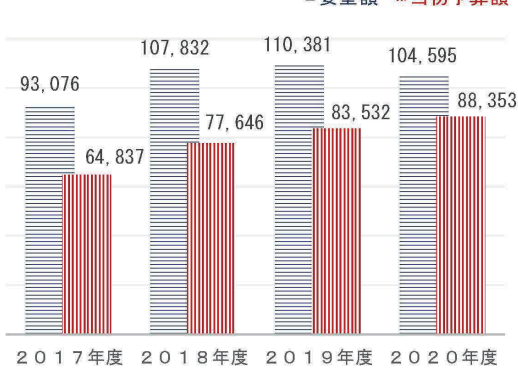


# 財界が求める巨大道路より

# 県道の安全対策・修繕を

千葉県は、財界が求める圏央道や北千葉道路の予算は「聖域扱い」です。さらに第2湾岸道路の事業化にも動き出しています。その一方で、住民が日々の生活に欠かせない身近な県道の凸凹修繕、交通安全対策などの予算を抑え込んでいます。

土木事務所の要望額と予算額  
(百万円)



## 土木事務所からの要望額は 7～8割しか予算化していません

毎年、土木事務所が要望している県民の生活に直結する県道の修繕や、都市河川管理などの予算は、大幅に圧縮されています。

県民が望んでいる「県道の凸凹を直して」「危ないから歩道をつくって」「交差点を改善して」「草刈りしてほしい」等々は、後回しにされています。

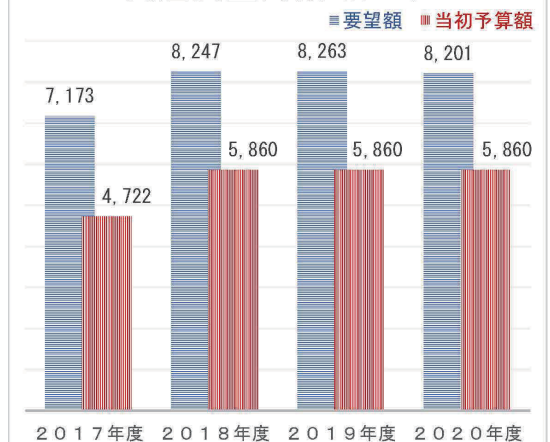
舗装道路修繕 (百万円)



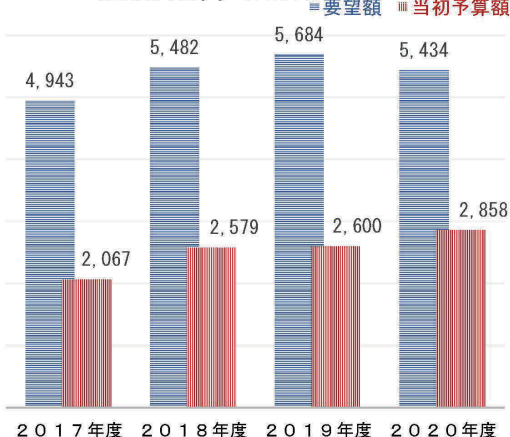
← 予算化は、要望の6割～8割  
(道路の凸凹修繕など)

→ 予算化は、要望の6割～7割  
(ガードレール、交差点改良、横断歩道など)

交通安全対策 (百万円)



道路維持 (百万円)



← 予算化は、要望の4割～5割  
(草刈りなど)

## 信号機の新設

2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
40	40	30	22

\* 2013年度の新設数は90  
2021年度の新設数は 4 (見込み)



みわ由美  
(松戸市)



加藤英雄  
(柏市)